

夫婦で入居、高専賃

エステート白馬



埼玉県栗橋にゆとりのある22戸

不動産仲介のエステート白馬（埼玉県所沢市、野口祐介社長）は、グループ会社の白馬メテイクアサービ（埼玉県北葛飾郡栗橋、橋）（全名「白馬」）を境

「食」と「介護」の機能を併せて、高齢者の生活を総合的にアシストする。

指定の申請は予定していないという。

また、医療機関との提携を進めるため医療関連のアドバイサー役として東京女子医科大学助教授の新井田達夫氏、スズキ病院の砂子彌敏子氏を顧問に迎え入れたのに加え、近く、埼玉県の地元栗橋の大規模病院との提携を検討していると

井上俊明社長）を通じて、訪問介護・居宅介護支援事業所を併設した高齢者専用賃貸住宅「ハーウィル栗橋」(全名「白馬」)を境

1階はコンシェルジュの在席するフロント、サロンスペース、介護事業所、2階にレストランを配置、フロントと警備会社が対応に当たる緊急時通報システムを各居室に導入し、セキュリティ一面の充実も図った。3口コンロの1戸式システムキッチン、1坪タイプの大形バスルーム、車いすのまま入れる広いトイレスペース、フットインの洗面台、二重サッシなど居室内の設備も充実させたほか、戸数限定でペット飼育にも対応するという。

「栗橋」は、高齢者専用賃貸住宅の特定施設の指定申請基準に準拠しているが、栗橋のプロシエクトは

白馬メテイクアサービ社長によると、「自宅でも老老介護している世帯などをはじめ、高齢者夫婦が長く一緒に暮らせる生活環境を提案する。入居者の住宅など遊休資産の賃貸管理などにも対応するなど、グループの強みを生かしていきたい」と話している。

エステート白馬では、かねてから高齢者施設の事業化を検討してきた。06年6月に白馬メテイクアサービの母体となる福祉事業部を社内立ち上げ、07年4月に専門会社として独立させた。同年6月に埼玉県から介護保険事業所の認可を取得している。

また、医療機関との提携を進めるため医療関連のアドバイサー役として東京女子医科大学助教授の新井田達夫氏、スズキ病院の砂子彌敏子氏を顧問に迎え入れたのに加え、近く、埼玉県の地元栗橋の大規模病院との提携を検討していると

森ビルは10月9日の臨時株主総会と臨時取締役会で、10月19日支払い込み期日として、第三者割当増資による新株式発行を決めた。

普通株式8036株を新たに発行して、90億円を資本金に組み入れる。増資後の資本金は、100億円となる。